

道徳だより

令和8年7月
七塚小学校
校長 奥 健一
3年生担当

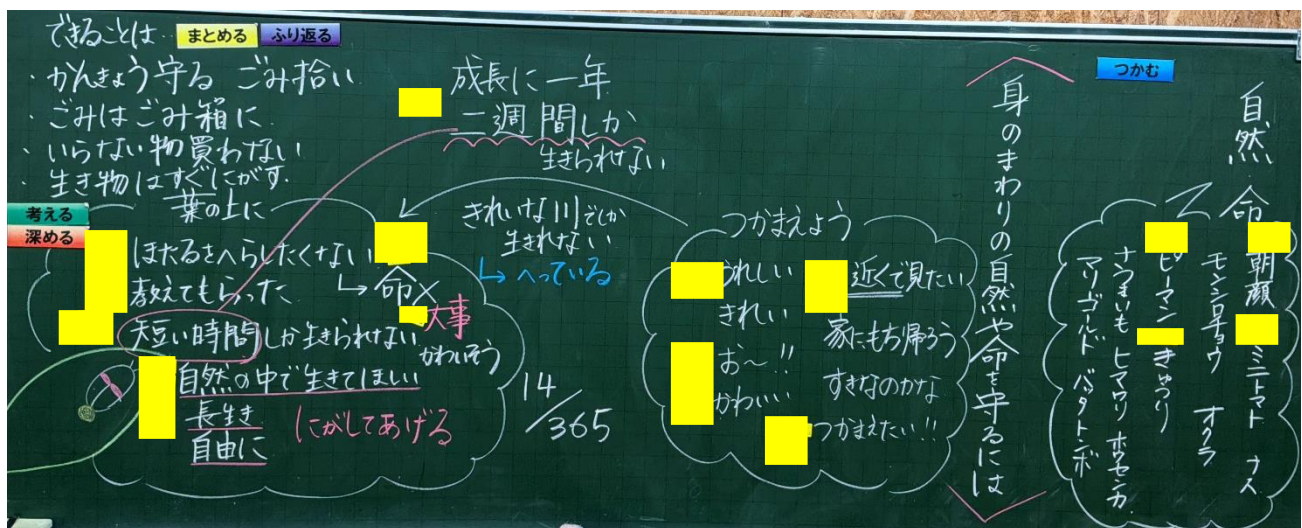
今回は、3年生の授業の様子についてお伝えします。

主題名： 自然と仲よくくらす

教材名：「やさしい光」

《ねらい》 自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、身近な自然や動植物を大切にしようとする意欲を高める。

《あらすじ》 主人公はお母さんと一緒にホタルの観察会に出かけました。近くに飛んで来たホタルを手にとろうとした時に、おじさんに止められてしまいました。おじさんから、「ホタルは1年をかけて成長しても、たった2週間しか生きられないこと。きれいな川でないと生きられず、ホタルの生息地がどんどん減ってきていること。この観察会でたくさんの人にホタルを楽しんでほしいこと。」と教えてもらいました。そして、観察会が終わった帰り道で、1匹のホタルがお母さんの肩に止まりました。ホタルを手に取りましたが、葉の上に置いてあげました。ホタルの光がいつそう輝きを増したように感じられました。



「身のまわりの自然や命を守るには」という課題について話し合いました。

始めはつかまえようとしたホタルをどうしてホタルを葉の上に置いてあげたのかを問うと、

- ・ 短い時間しか生きられないホタルを大切にしたいと思ったから。
- ・ 少しの時間でも自由に自然の中で生かしてあげたいと思ったから。
- ・ おじさんに教えてもらったことで、ホタルの命を大切にしなければならないと思ったから。

と、たった2週間しか生きられないホタルの命を大切にしなければならないということに気付いた主人公の気持ちに寄り添った発言が多く見られました。

その後、自然と仲良く暮らすためにできることを出し合いました。

- ・ 生き物の命を大切にするために、観察などでつかまえたとしてもすぐに逃がしてあげたい。
- ・ ごみを捨てないようにしたりごみ拾いをしたりして、環境を守りたい。
- ・ 自然を守るためにできることをたくさんしていきたい。

などのたくさんの意見が出ました。わたしたちの身のまわりにもたくさんの自然が広がっています。小さな生き物や昆虫、植物などの命を大切にすることや、環境を守る意識をもって生活することが大切です。